

# 坂戸、鶴ヶ島水道企業団 中期経営計画（令和5年度～令和9年度）【概要版】

## 1 はじめに

坂戸、鶴ヶ島水道企業団は、99%を超える給水普及率を実現していますが、施設の老朽化の進行や耐震化への要請から更新需要が増加している状況です。一方、その財源としての給水収益は、近年の節水機器の普及や給水人口の減少などにより水道料金収入の減少が見込まれており、財源確保が課題となっています。

このような状況の下、企業団では今後予想される状況に対応し、安全で安心な水道を将来に引き継ぐために、「水道事業ビジョン」及び当該計画を進めるための「水道事業基本計画」を平成29年度に策定しました。この計画を踏まえ、令和4年度に令和5年度から令和9年度

までを計画期間とした中期経営計画を作成しました。しかしながら、令和8年度からの埼玉県企業局による用水供給事業の料金改定の影響が極めて大きいことから、令和7年度に、令和9年度からの料金改定を見込み、本計画の見直しを行いました。

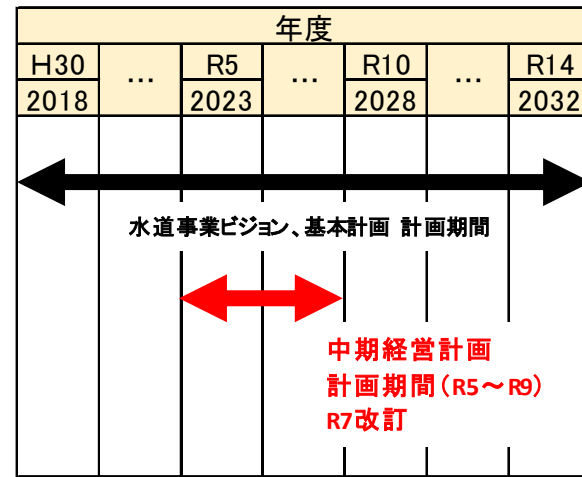


図1 中期経営計画の計画期間

## 2 基本数値

### (1) 水需要予測、給水計画及び水源計画

給水人口及び給水量を基に水需要を求め、それを賄うために必要な水源を県水受水量及び地下水量により算出します。

表1 水需要予測、給水計画及び水源計画

項目	年度						摘要
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和5年度～9年度計	
①年平均給水人口(人)	168,940	168,875	167,886	167,102	166,317	-	
②一人一日平均有収水量(ℓ)	284	282	283	283	283	-	③÷年度内日数÷①×1,000
③年間有収水量(m³)*1	17,570,798	17,407,218	17,331,660	17,282,750	17,212,980	86,805,406	
④有収率(%)	92.35	91.56	92.43	92.48	92.53	-	
⑤年間給水量(m³)*1	19,026,814	19,011,903	18,751,145	18,688,000	18,602,682	94,080,544	
⑥県水受水量(m³)	16,427,172	16,098,054	16,050,001	15,847,505	15,731,898	80,154,630	
⑦地下水量(m³)	2,599,642	2,913,849	2,701,144	2,840,495	2,870,784	13,925,914	⑤-⑥
⑧取水量(m³)*2	3,022,524	3,309,244	2,971,258	3,124,545	3,157,862	15,585,433	⑦×1.1

\*1 有収水量は、お客さまに販売した水量です。給水量は、浄水場や配水場から送り出した水量です。

\*2 地下水量に浄水場内で損失する水量を加えたものが取水量となります。

上記表について、令和5年度及び令和6年度の数値は実績値であり、令和7年度以降は計画値となります。(以降の表について同様とします。)

### (2) 量水器口径別水量

量水器の口径別にそれぞれ調定件数及び水量を求め、求めた水量を水量区画別に推計し、料金水量を算出します。

表2 口径別水量区画別料金水量

(単位:m³)

区分	調定件数	水 量 区 画 別 料 金 水 量								計
		10m³まで	10m³を超え 20m³まで	20m³を超え 50m³まで	50m³を超え 100m³まで	100m³を超え 300m³まで	300m³を超え 500m³まで	500m³を超え 15,000m³まで	15,000m³ を超える分	
13mm	1450.570	9,005,740	28,794,744	1,157,129	51,100	27,039	8,266	2,885	0	13,131,633
20mm	3665.448	30,728,191	18,687,879	10,622,410	456,900	73,698	4,170	1,484	0	60,574,732
25mm	63.074	517,722	385,137	681,119	543,846	718,764	192,062	72,491	0	3,111,141
40mm	23.340	218,130	201,114	520,406	701,127	1,622,873	828,622	1,217,278	0	5,309,550
50mm	3.668	35,306	34,462	96,716	148,789	434,704	289,986	662,008	0	1,701,971
75mm	1.560	15,400	15,355	45,789	75,780	253,862	176,723	1,165,101	0	1,748,010
100mm	240	2,383	2,383	7,150	11,917	47,668	47,668	922,851	0	1,042,020
150mm	120	1,125	1,125	3,375	5,625	22,502	22,502	128,385	0	184,639
計	5,208,020	40,523,997	22,206,929	13,134,094	1,995,084	3,201,110	1,569,999	4,172,483	0	86,803,696

## 3 事業計画

### (1) 事業計画

令和5年度から令和9年度までの事業計画(令和6年度以前は実施済み)は次のようになります。計画期間では、主に「導水管及び送水管」、「口径300mm以上の幹線管路」、「重要給水管路」及び「布設後40年以上経過した口径50mm以上のビニル管」の耐震化及び更新を実施する予定です。施設設備に関しては更新事業も行いますが、適宜点検を実施し、できるだけ修繕で対応する予定です。

表3 計画期間の主な事業内容

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
①送水管更新	①送水管更新	①導水管・送水管更新	①導水管更新	①導水管更新
②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新	②幹線管路更新
③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化	③老朽管更新・耐震化
④取水ポンプ設備更新	④管網整備	④管網整備	④管網整備	④管網整備
⑤自家発電設備更新 (坂戸浄水場)	⑤取水ポンプ設備更新	⑤取水ポンプ設備更新	⑤取水ポンプ設備更新	⑤取水ポンプ設備更新
⑥クライアントPC更新 (坂戸浄水場)	⑥送水ポンプ設備更新 (坂戸浄水場・鶴ヶ島 浄水場)	⑥受変電設備更新 (坂戸浄水場)	⑥受変電設備更新 (坂戸浄水場)	⑥電気計装設備更新
⑦配水池耐震化 (城山配水池)	⑦次亜注入設備更新 (坂戸浄水場・鶴ヶ島 浄水場)		⑦水質遠方監視装置更新	
	⑧クライアントPC更新 (鶴ヶ島浄水場)		⑧電気計装設備更新	

表4 計画期間の事業費

(単位:千円)

項目	年度						令和5年度 ～9年度計
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
委託業務計画	309,819	402,030	487,954	395,201	483,891	2,078,895	
修繕計画	119,619	145,546	332,263	190,414	260,187	1,048,029	
建設改良計画	1,220,841	1,322,671	2,339,284	1,350,203	1,529,272	7,762,271	
その他業務計画	119	497	98	352	89	1,155	
計	1,650,398	1,870,744	3,159,599	1,936,170	2,273,439	10,890,350	

### (2) 人員計画

技術の円滑な継承と将来的な世代間構成比の適正化を図るため、継続的な職員の採用を予定しています。

表5 人員計画

(単位:人)

項目	年度				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数	53	51	52	55	56

表6 人件費内訳

(単位：千円)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
原水及び浄水費	119,321	124,700	126,351	115,953	116,624
配水及び給水費	114,905	115,522	123,466	106,403	109,991
受託工事費	12,135	13,718	15,101	12,090	11,836
業務費	18,717	18,676	18,271	17,015	17,140
総係費	126,706	124,870	148,707	122,057	129,452
計	391,784	397,486	431,896	373,518	385,043

## 4 財政収支

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出は、水需要の減少に伴う給水収益の減少のほか、物価上昇に伴う維持管理費、委託費、動力費等の増加や建設投資の増加に伴う減価償却費の増加等により、令和7年度から経常損失が発生する見通しです。令和9年度の料金改定以降、経常損失は黒字に転じる見通しです。

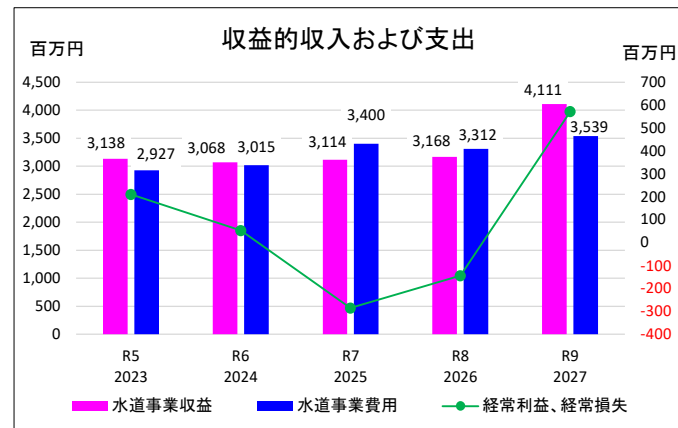
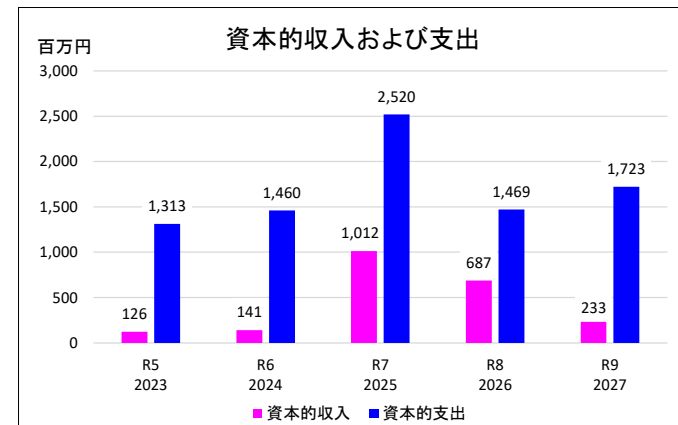


図2 収益的収入及び支出

### (2) 資本的収入及び支出

資本的支出は、主に幹線管路更新事業、老朽管更新・耐震化事業等の事業費です。当該事業の実施に伴い、資本的支出が資本的収入に対して不足する額の補てんについては、現金預金の取崩しや企業債の借入れが必要となる見込みです。



※建設改良費においては、継続費運次繰越、建設改良繰越等により、例年繰越予算が生じますが、計画策定上、令和7年度以降は翌年度への繰越額は生じず、各年度において全額執行するものとしています。

図3 資本的収入及び支出

### (3) 予定キャッシュフロー

予定キャッシュフローは、令和9年度からの料金改定を基に企業債の借入れを含めて推計すると、現金預金の期末残高は、令和7年度以降、約11億円から13億円で推移する見込みです。

表7 予定キャッシュフロー

(単位：円)

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
業務活動	当期純利益・当期純損失	210,490,724	62,970,965	△ 290,600,188	△ 145,348,483	571,181,991
	減価償却費	834,937,437	852,608,632	906,988,133	900,107,409	972,287,659
	資産減耗費	67,745,001	25,991,263	39,719,000	54,316,000	54,316,000
	長期前受金戻入	△ 269,399,115	△ 270,004,562	△ 259,488,000	△ 291,776,000	△ 294,073,000
	未収金の増減	13,244,180	△ 7,713,056	△ 248,945,199	252,045,613	△ 118,368,217
	未払金の増減	△ 2,289,792	725,163	98,952,316	△ 31,440,381	15,817,854
	引当金	20,490,254	41,139,552	△ 140,230	△ 20,888	6,221,803
計	875,218,689	705,717,957	246,485,832	737,883,270	1,207,384,090	
投資活動	固定資産取得による支出	△ 1,201,252,716	△ 1,335,036,772	△ 1,463,129,427	△ 781,727,490	△ 1,489,565,517
	資本的収支消費税	△ 50,139,239	32,155,759	336,882,620	164,098,243	215,242,223
計	△ 1,251,391,955	△ 1,302,881,013	△ 1,126,246,807	△ 617,629,247	△ 1,274,323,294	
財務活動		0	0	0	0	0
現金預金 増減額		△ 376,173,266	△ 597,163,056	△ 879,760,975	120,254,023	△ 66,939,204
現金預金 期首残高		3,037,160,434	2,660,987,168	2,063,824,112	1,184,063,137	1,304,317,160
現金預金 期末残高		2,660,987,168	2,063,824,112	1,184,063,137	1,304,317,160	1,237,377,956

表8 企業債借入額

区分	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
企業債借入額		0	0	632,000,000	500,000,000	0

### (4) 貸借対照表

貸借対照表は、資産に対する負債の割合が低いいため、計画期間内においては健全な水道事業の経営が継続できる見込みです。

しかし、今後は企業債借入れに伴う負債の増加が予想されます。

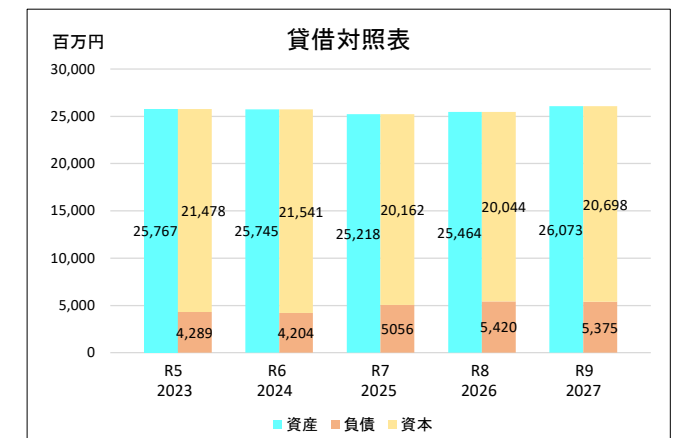


図4 貸借対照表